

(3) 広域的都市機能の立地動向整理

(3) -1 目的

「広域構想」においては、都市構造、生活環境、商業機能等を踏まえ、嘉手納飛行場より南の6施設の立地産業及び機能が想定されている。しかし、広域構想が策定された平成25年以降、沖縄県の社会情勢は変化し、新たな都市機能の立地や産業の集積が見られるようになった。

そこで、広域構想における各施設の立地想定産業・機能の検討のための参考とすることを目的とし、広域構想検討時以降の広域的都市機能の立地動向、公共施設における老朽度を整理する。

表Ⅲ-1 広域構想において想定する産業・機能タイプ

駐留軍用地跡地 想定される産業	普 天 間 飛 行 場	牧 港 補 給 地 区	那 覇 港 湾 施 設	南 側 地 区 キ ャ ン プ 桑 江	第 1 桑 江 タ ン ク フ ア ーム	キ ャ ン プ 瑞 慶 覧	慶 覧 統 合 計 画 を 踏 ま え た キ ャ ン プ 瑞 ま
リゾートコンベンション産業	◎	◎	◎	○		◎	
文化産業	◎	◎	◎	◎		○	○
先端情報通信産業	○	◎	○	○		○	○
健康産業	○	◎	○	○		◎	◎
医療・生命科学産業	◎	◎	◎			◎	◎
環境・エネルギー産業	◎	○				○	○
都市型農業	○	○				◎	
国際物流流通産業		◎	◎				
スポーツツーリズム産業	◎	○	◎			◎	
海洋産業		◎	○				
複合産業	◎	○	◎	◎		○	

産業以外の機能

国際協力・貢献機能	◎	◎	○				
産業支援機能	○	○	○	○		○	○
研究開発機能	◎	◎					○
専門人材育成機能	○	○	○	◎		○	○
広域防災機能	◎						○

### (3) -2 抽出する都市機能の条件

以下の2つの視点を踏まえ立地動向を把握する広域都市機能を抽出する。

#### (視点1) 中南部都市圏の現状の更新

平成19年度駐留軍用地跡地に係る有効利用ビジョンの検討基礎調査において、各施設の立地想定・産業を検討する際に把握した都市機能を参考に、高次都市機能、特区、大規模小売店舗を抽出する。

表Ⅲ-2 今年度の検討事項について

平成19年度 中南部都市圏の現状 調査項目	今年度の検討事項
(1) 中南部都市圏の位置	該当なし
(2) 人口・雇用	該当なし
(3) 都市構造	・高次都市機能の現状把握 →各施設における想定される産業・機能に関する都市施設の現状を把握
(4) 生活環境	・特区等 →産業の集積を促進する区域を把握
(5) 商業機能	・大規模小売店舗

#### (視点2) 広域防災機能の把握

沖縄県緊急輸送道路ネットワーク計画において選定されている防災拠点を参考に、広域防災拠点として、災害医療拠点を抽出する。

表Ⅲ-3 抽出する都市機能

項目	都市機能
高次都市機能	<p>※「<u>沖縄中南部都市圏における資源・資質の一覧（H19 報告書）</u>」及び<u>県資料（HP、パンフレット）</u>より、広域構想に位置づけた「想定する産業・機能」に該当するものを抽出した。但し、施設を特定できないものは抽出しない。</p> <p><b>【想定する産業】</b></p> <p>①リゾートコンベンション産業（MICE、滞在型リゾート産業 等）                  ②文化産業（芸術産業、エンターテインメント産業、食文化産業 等）                  ③先端情報通信産業（ASP・SaaS、クラウド、データセンター、ソフトウェア開発 等）                  ④健康産業（健康バイオ産業、健康ケアサービス産業、スパ産業 等）                  ⑤医療・生命科学産業（創薬、ライフサイエンス、高度医療サービス 等）                  ⑥環境・エネルギー産業（環境ビジネス、再生可能エネルギー産業 等）                  ⑦都市型農業（植物工場、テーマパーク型農林水産業 等）                  ⑧国際物流流通産業（臨空型産業、臨港型産業 等）                  ⑨スポーツツーリズム産業（スポーツ施設 等）                  ⑩海洋産業（マリンバイオテクノロジー産業 等）                  ⑪複合産業</p> <p><b>【想定する機能】</b></p> <p>①国際協力・貢献機能                  ②産業支援機能                  ③研究開発機能                  ④専門人材育成機能                  ⑤広域防災機能（災害医療拠点（総合病院））</p> <p>※<u>沖縄県緊急輸送道路ネットワーク計画</u>から抽出</p>
特区	<p>①経済特区（情報通信産業振興地域、情報通信産業特別地区、経済金融活性化した特別地区）                  ②国際物流拠点産業集積地域                  ③産業高度化・事業革新促進地域                  ④工場適地                  ⑤観光形成促進地域</p>
大規模小売店舗	<p>店舗面積 10,000 m<sup>2</sup>を超える大規模小売店舗</p> <p>※<u>全国大型小売店総覧 2017 版（東洋経済）</u>から抽出</p>

(参考) 中南部都市圏における資源・資質の一覧

表Ⅲ-4 沖縄中南部都市圏における資源・資質の一覧

分野	項目	資源・資質	所在市町村	活用の視点	
位置・自然	位置	日本の最南に位置する	全体	日本の南の交流拠点としての位置づけ	
		東アジア成長地域への近接性/3つの交流圏の結節点	全体	東アジアとの経済・文化・観光等の交流	
	気候	亜熱帯性気候	全体	亜熱帯をテーマとした学術研究等の推進	
		温暖で暮らしやすい気候(年平均気温22.4℃)	全体	観光集客、健康長寿のテーマ開発	
自然	漫湖(ラムサール条約登録湿地) 比較的多い緑地帯(石川、沖縄、読谷、嘉手納等) 農業的な土地利用と都市的な土地利用の混在 長い海岸線	那覇市 全体 全体 海岸地域	原自然保存 自然と都市の共生型地域づくり 自然と都市の共生型地域づくり 親水レク空間づくり		
文化	文化全体	琉球文化・アメリカ文化・大和文化の融合(チャンプルー文化) 国際色豊かな独自の文化・生活様式 沖縄県立博物館・美術館	全体 全体 那覇市	観光集客の基礎 国際交流推進の基礎	
	伝統的精神文化	結い、ユイマール等の共同体意識 ホスピタリティに富む県民性 夜を楽しむ文化(夕涼みの文化)	全体 全体 全体	コミュニティづくりの基礎 観光受け入れ体制の基礎	
	食材・食文化	健康・長寿を育む多様な食材(ウコン、アロエ、モズク等) 健康・長寿を育む食文化(医食同源、菜食同源)	全体 全体	健康産業クラスターの形成 健康産業クラスターの形成	
	服飾文化	かりゆしウェア	全体	観光宣伝、沖縄ブランド形成	
	祭・伝統芸能	祭(エイサー、那覇まつり等) 音楽(うた、琉球古典音楽、楽器、民謡酒場) 舞踏(組踊り、琉球舞踏、カチャーシー) 国立劇場おきなわ、県立郷土劇場	全体 全体 全体 浦添市	舞踏芸能振興の視点	
	芸術文化	沖縄県立博物館・美術館 美術館(浦添) 都市部に立地する音楽ホール、劇場	那覇市 浦添市 那覇市等	芸術振興の拠点	
	自動車文化	車中心社会(多い自動車保有台数)	全体	ロードサイド型・郊外型機能立地展開	
生活	生活者	若い人口(若年人口割合高い) 長寿人口(平均寿命長い、100歳以上の高齢者比率高い)	全体 全体	産業への労働力供給、まちづくりの担い手	
	医療・福祉	医療ネットワークの中核を担う県立病院(那覇、南部、中部) 米国型の合理的医療システム 沖縄県総合福祉センター 周産期母子総合医療センター(中部病院内)	那覇、沖縄、糸満 全体 那覇市 沖縄市	ネットワーク型医療システムの展開 福祉ボランティア活動の拠点 子ども医療の拠点	
	市民活動	NPO団体(県内26団体認証) ボランティア、NPO活動支援センター(設置予定) コミュニティFM局(糸満市等)	全体 全体 各地	NPOとの協働による地域づくりの推進 NPO活動支援の拠点	
	産業集積	情報サービス産業集積(コールセンター、データセンター等) コンテンツ制作系産業集積(CGベンチャー等) ソフトウェア開発系産業集積(ソフハウス等)	那覇市等 那覇市等 那覇市等	IT産業クラスターの形成 IT産業クラスターの形成 IT産業クラスターの形成	
産業集積	コミュニティ産業	医療・福祉、生活サービス等の産業集積	全体	生活と一体化した地域づくりの中核	
	都市近郊型農業	野菜・花卉・果実、豚・牛、さとうきび産業	全体		
	都市型観光産業	ホテル、運輸、飲食・物販産業	都市部	より質の高い都市型観光業の展開	
	地場産業(産品)	野菜・海産物(ゴーヤー、ウコン、モズク等) 加工食品・地酒(沖縄そば、土産菓子、泡盛等) 伝統工芸品(染織物、陶器、琉球漆器、琉球ガラス等13品目)	全体 全体 全体	おきなわブランドの確立 おきなわブランドの確立 おきなわブランドの確立	
	産業立地空間	自由貿易地区 自由貿易地域那覇地区 中城湾港新港地区特別自由貿易地域	那覇市 沖縄市等	企業立地の促進と貿易振興 企業立地の促進と貿易振興	
産業立地空間	産業集積誘導地域	工業等開発地区 集積促進地域 情報通信産業振興地域指定地域	沖縄市等 那覇市等 那覇市等	工業立地誘導 頭脳立地誘導 情報通信産業の立地誘導	
	工場適地(工業団地)	糸満工業団地等12適地・団地	糸満市等	工業立地誘導	
	産業振興	インキュベート施設	那覇市IT創造館	那覇市	情報通信産業の育成
			企業化支援オフィス(沖縄産業支援センター内)	那覇市	企業化支援
浦添市産業振興センター			浦添市	情報通信産業等の育成	
宜野湾ベイサイド情報センター			宜野湾市	情報通信産業等の育成	
沖縄市ITワークプラザ			沖縄市	情報通信産業等の育成	
沖縄市モバイルワークプラザ			沖縄市	情報通信産業等の育成	
沖縄市テレワークセンター			沖縄市	情報通信産業等の育成	
嘉手納町マルチメディアセンター	嘉手納町	情報通信産業等の育成			
美浜メディアステーション	北谷町	IT関連産業を対象			
中核産業支援組織	フロム沖縄推進機構 財)沖縄県産業振興公社 地域中小企業支援センター(中部、南部) レキオ・ベンチャーネットワーク(レキオネット) 沖縄産業支援センター	那覇市 那覇市 那覇市、沖縄市 全体 那覇市	情報化面での産・学・行政・住民の協働を先導 ベンチャー企業への産学官協力支援 各種支援のワンストップサービス拠点		
ベンチャーキャピタル	公的資金(創業者支援資金、ベンチャー支援資金等)	全体	創業支援		

第三章 | 広域構想等の更新に向けた嘉手納飛行場より南の6施設の周辺状況の把握・整理

分野	項目	資源・資質	所在市町村	活用の視点
学術・研究開発	中核的研究開発支援施設	沖縄情報通信研究開発支援センター・沖縄リサーチセンター 共同利用センター(沖縄情報通信研究開発支援センター分室) トロピカルテクノセンター 沖縄県健康・長寿研究センター事業 国際マングロープ生態系協会	那覇市 北谷町 うるま市 那覇市 西原町	マルチメディア関連の研究開発を支援 通信コスト低減化の研究開発支援 新製品開発、地元企業との共同研究等 健康食品産業振興事業
	中核的学術研究機関	沖縄科学技術大学院大学(建設中) 琉球大学・大学院、同大学付属研究機関(地域医療研究センター、 熱帯生物圏研究センター、地域共同研究センター等) 沖縄県立芸術大学・大学院 沖縄国際大学・大学院 沖縄大学 沖縄キリスト教短大、沖縄女子短大	恩納村 西原町  那覇市 宜野湾市 那覇市 西原町等	学術研究主導  学術研究主導 学術研究主導 学術研究主導
	中核的技術開発研究機関	琉球大学、同大学付属研究機関 (遺伝子実験施設、動物実験施設等) 沖縄県工業技術センター 沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター 沖縄県工業指導所 沖縄県農業試験場  沖縄県水産試験場	西原町  うるま市 うるま市 南風原町 那覇市  糸満市	化学・食料品・窯業・機械金属の試験研究成果移転 健康バイオ等の研究成果移転 染織・木漆工等の試験研究成果移転 野菜・花卉・果樹・バイオテクノロジー等の試験研究成果移転 養殖・増殖等の試験研究成果移転
人材育成・供給	人材育成機関	琉球大学・大学院 沖縄県立芸術大学・大学院 沖縄国際大学・大学院 沖縄県立看護大学 沖縄大学 沖縄キリスト教短大、沖縄女子短大 国際協力事業団沖縄国際センター 沖縄県マルチメディアセンター	西原町 那覇市 宜野湾市 那覇市 那覇市 西原町等  那覇市	高質の知識人材育成 高質の知識人材育成 高質の知識人材育成 高質の知識人材育成 高質の知識人材育成 高質の知識人材育成 国際人材育成への貢献 市民の情報リテラシー向上、コンテンツクリエイター 人材育成
	職業能力開発	沖縄職業能力開発大学校(ポリテクカレッジ) 職業能力開発校(うるま市、浦添市) 沖縄職業能力開発促進センター(ポリテクセンター) 雇用・能力開発機構	那覇市 うるま市等 那覇市 那覇市	職業人材の育成と産業への供給 職業人材の育成と産業への供給 職業人材の育成と産業への供給 職業人材の育成と産業への供給
	人材供給	低労働力コスト(全国平均の8割水準) 地元就職指向の強い新規卒業者 公共職業安定所(那覇、沖縄)	全体 全体 那覇市等	産業への低コスト労働力の供給 産業への新規労働力の供給 雇用流動化の拠点
	観光・レク	観光集客都市	那覇市(国際通り、牧志公設市場、歓楽街等) 沖縄市(空港通り、歓楽街等) 糸満市(漁業の町)	那覇市 沖縄市 糸満市
大規模集客商業拠点	北谷町アメリカンビレッジ ハンビータウン DFSギャラリア沖縄 沖縄アウトレットモール あしびなー	北谷町 北谷町 那覇市 豊見城市	新しい観光集客拠点としての活用 観光集客拠点としての活用 観光集客拠点としての活用 観光集客拠点としての活用	
歴史文化施設・遺産	城跡(首里城、中城城、勝連城、座喜味城→世界遺産) 遺跡・記念工作物(斎場御嶽、玉陵、識名園等→世界遺産) グスクロード 戦跡(姫百合之塔、平和の礎、摩文仁の丘等) 壺屋(伝統工芸の街)	那覇市等 那覇市等 玉城村 糸満市 那覇市	国際的な観光誘客への活用 国際的な観光誘客への活用 ネットワーク型観光振興への活用 ネットワーク型観光振興への活用 ネットワーク型観光振興への活用	
観光スポット	安保の見える丘 国道58号線(ヤシ並木、沖縄のウエストコースト) 玉泉洞 伝統工芸拠点(琉球ガラス村、伝統工芸総合センター)	嘉手納町 西海岸地域 玉城村 各地	ネットワーク型観光振興への活用 ネットワーク型観光振興への活用 ネットワーク型観光振興への活用 ネットワーク型観光振興への活用	
観光イベント	祭(エイサー、海神祭、那覇ハーリー等) イベント(沖縄花のカーニバル、沖縄海のカーニバル等)	各地 各地	観光集客への活用 観光集客への活用	
スポーツ施設	プロ野球球団のキャンプ地 多数のゴルフ場(21施設) 運動公園	各地 各地 各地		
公園	奥武山公園 首里城公園 ひめゆりパーク 平和祈念公園	那覇市 那覇市 糸満市 糸満市	観光集客への活用 観光集客への活用 観光集客への活用 観光集客への活用	
海洋レジャー施設	知念海洋レジャーセンター 海岸線の多数のビーチ(海水浴場) マリナー、ヨットハーバー	知念村 海岸地域 海岸地域	観光集客への活用 観光集客への活用 観光集客への活用	

分野	項目	資源・資質	所在市町村	活用の視点
国際交流	国際ネットワーク	姉妹都市(台湾、中国福建省との関係深い) 世界のウチナーンチュ	全体 全体	交流のさらなる展開 人ベースでのネットワーク
	国際機関・NPO	領事館、各国事務所、国際交流機関 国際マングローブ協会(ISME) アジア医師連絡協議会(AMDA)沖縄支部	那覇市 那覇市 那覇市	交流の中核
	国際技術研修	JICA沖縄国際センター		
	国際コンベンション	沖縄コンベンションセンター 多数の国際会議開催 沖縄観光コンベンションビューロー	宜野湾市 全体 那覇市	国際コンベンションの拠点 国際コンベンションの誘致促進
	国際観光	多数の国際観光客(台湾等)	全体	国際観光振興
交通ネットワーク	空港	那覇国際空港(24時間空港、国際線4路線)	那覇市	国際・国内交流のゲートウェイ
	港湾	那覇港(重要港湾、4万トン級岸壁、国際コンテナ4航路) 中城湾港(重要港湾、4万トン級岸壁)	那覇市 うるま市等	流通の重要拠点 流通加工拠点
	幹線道路	沖縄自動車道(那覇市-うるま市35分) 国道329号(東海岸)、国道58号(西海岸)等	全体 全体	観光流動・物流の幹線、IC周辺開発 観光流動、通勤流動の幹線
通信ネットワーク	情報通信ケーブル	光ファイバーケーブル収容空間 光ファイバー網 沖縄県情報産業ハイウェイ 国際光ファイバー海底ケーブル陸揚局	全体 全体 全体 糸満市、うるま市	地域IT化、IT産業集積の基盤 地域IT化、IT産業集積の基盤 地域IT化、IT産業集積の基盤 地域IT化、IT産業集積の基盤
	ブロードバンドアクセス環境	ISPアクセスポイント スクール・インターネット・フリーウェイ ブロードバンド通信サービス	那覇市等 全体 全体	地域IT化の基盤 学校・地域情報ネットワークの基礎 地域IT化の基盤
ユーティリティ	電力	安定的電力供給(充実した発電所・電力流通網)	全体	
	水資源	工業用水道による給水	全体	
	新エネルギー	沖縄電力風力発電実証研究設備(牧港、うるま) NEDO風力発電(糸満、北谷) 学校、公共施設における太陽光発電導入 ホテル等のコジェネレーション	浦添市等 糸満市等 那覇市等 宜野湾市等	

出所)野村総研作成

内から施設を抽出

出典：駐留軍用地跡地に係る有効利用ビジョンの検討基礎調査（平成19年3月、沖縄県）

(参考) 防災拠点

3-1-1 防災拠点の定義

- 防災拠点については、「地震防災対策特別措置法第3条第1項五号」の「緊急輸送を確保するため必要な道路」の主務大臣の定める基準でいう都道府県知事が指定する指定拠点の他、地震防災対策上重要と考えられる施設を、防災拠点とするものとする。

※地震防災対策特別措置法

(地震防災緊急事業五箇年計画の内容)

第三条 地震防災緊急事業五箇年計画は、次に掲げる施設等の整備等であつて、当該施設等に関する主務大臣の定める基準に適合するものに関する事項について定めるものとする。

五 緊急輸送を確保するため必要な道路、交通管制施設、ヘリポート、港湾施設（港湾法（昭和二十五年法律第二百十八号）第二条第五項第二号の外郭施設、同項第三号の係留施設及び同項第四号の臨港交通施設に限る。）又は漁港施設（漁港漁場整備法（昭和二十五年法律第三百三十七号）第三条第一号イの外郭施設、同号ロの係留施設及び同条第二号イの輸送施設に限る。）

3-1-2 防災拠点の選定

拠点種類		名称等	
災害医療拠点	総合病院	国立病院	国立大学法人琉球大学医学部附属病院
		県立病院	県立南部医療センター・こども医療センター、県立中部病院、県立北部病院、県立宮古病院、県立八重山病院、
		市立病院	那覇市立病院
		3次救急医療病院	浦添総合病院



内の施設を抽出

出典：沖縄県緊急輸送道路ネットワーク計画（平成8年7月、沖縄県）

(3) - 3 広域都市機能の状況

(3) - 3 - 1 高次都市機能の状況

- ・平成19年度以降に、大規模リゾートホテル（300人以上収容可能なリゾートホテル）の立地が増えている。
- ・先端情報通信施設、スポーツ施設、研究開発・専門人材に関する施設の新たな立地も見られる。
- ・環境・エネルギー産業、都市型農業、複合産業に係る公共施設の立地は、現時点で見られない。

表Ⅲ-5 想定される産業（1/2）

想定される産業	NO.	施設	広域構想検討前 (~H18)	広域構想検討後 (H19~)
リゾートコンベンション産業 MICE施設、滞在型リゾート産業等	1	沖縄コンベンションセンター ホテル（大規模リゾートホテル）	○	
	2	サザンビーチホテル&リゾート沖縄		○
	3	ホテルグランビューガーデン沖縄		○
	4	瀬長島ホテル		○
	5	百名ガーデン沖縄（南城市）		○
	6	グランメールリゾート	○	
	7	ラグナガーデンホテル	○	
	8	ムーンオーシャン宜野湾 ホテル&レジデンス		○
	9	ヒルトン沖縄北谷リゾート		○
	10	テラスガーデン美浜リゾート	○	
	11	ベッセルホテルカンバーナ沖縄		○
	12	ザ・ビーチタワー沖縄	○	
	13	EMウェルネスリゾート コスタビスタ沖縄ホテル&スパ	○	
文化産業 芸術文化産業、都市型エンターテインメント産業、食文化産業、伝統文化産業等	1	沖縄県立博物館・美術館		○
	2	国立劇場おきなわ	○	
	3	県土郷土劇場	○	H21閉館
	4	浦添市美術館	○	
	5	埋蔵文化財センター	○	
	6	文化観光スポーツ部芸術大学（沖縄県立芸術大学）	○	
先端情報通信産業 情報サービス産業、ソフトウェア開発業、デジタルコンテンツ業等		情報通信産業振興地域	○	
	1	美浜メディアステーション	○	
	2	宜野湾ベイサイド情報センター（G-WAVE）	○	
	3	浦添市産業振興センター「結の街」	○	
	4	沖縄県庁	○	
	5	沖縄労働局 助成金センター		開業時期不明
	6	沖縄産業支援センター	○	
	7	那覇市IT創造館	○	
	8	なは産業支援センター		○
	9	沖縄IT津梁パーク		○
	10	いちゅい具志川じんぶん館	○	
	11	沖縄市テレワークセンター	○	
	12	沖縄市雇用促進等施設		○
	13	沖縄市モバイルワークプラザ	○	
	14	沖縄市ITワークプラザ	○	
	15	豊見城市IT産業振興センター		○
16	嘉手納町マルチメディアセンター	○		
健康産業 健康ケアサービス産業、健康バイオ産業、健康食品産業、健康関連研究機関等	1	沖縄県健康産業協議会（産業支援センター）	○	
医療・生命科学産業 高度医療機関、医療関連製造業、ライフサイエンス産業、医療ツーリズム受入機関等	1	中部病院	○	
	2	南部医療センター、こども医療センター	○	
	3	精和病院	○	
	4	沖縄県総合福祉センター	○	
環境・エネルギー産業 スマートグリッド関連産業、再生可能エネルギー関連産業、リサイクル関連産業等	—			
都市型農業 植物工場、アグリコンビナート、テーマパーク型農林水産業等	—			

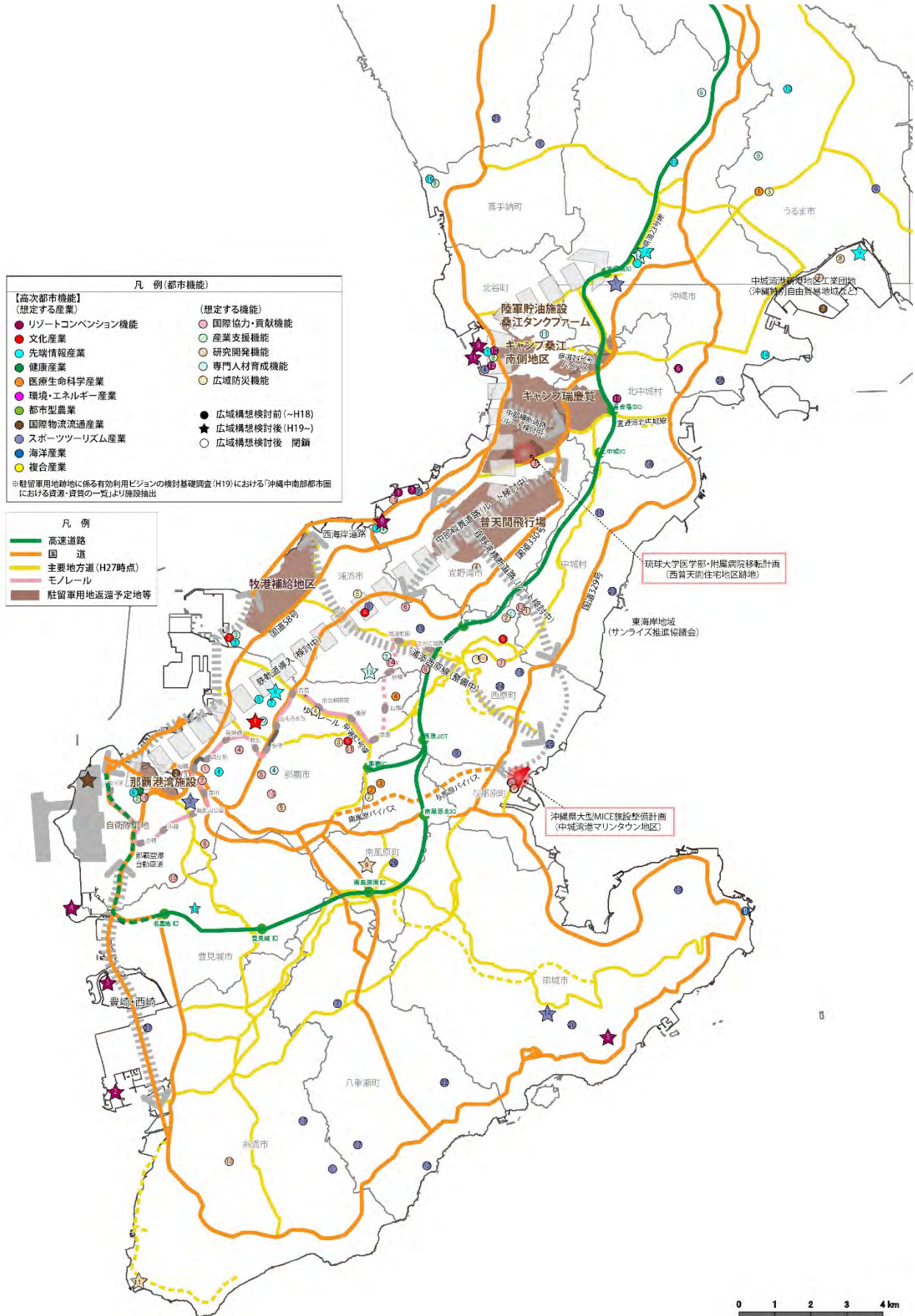


表Ⅲ-5 想定される産業（2/2）

想定される産業	NO.	施設	広域構想検討前 (~H18)	広域構想検討後 (H19~)
国際物流流通産業 臨空型交易産業、臨港型交易産業等	1	那覇国際空港	○	
	2	那覇港	○	
	3	中城湾港	○	
スポーツツーリズム産業 スポーツツーリズム施設、キャンプ・合宿 関連施設・サービス等		プロ野球球団のキャンプ地		
	1	コザしんきんスタジアム		○
	2	宜野湾市立野球場	○	
	3	沖縄セルラースタジアム那覇		○
	4	北谷公園野球場	○	
	5	浦添市民球場	○	
	6	うるま市具志川多種目球技場	○	
	7	八重瀬町東風平運動公園野球場	○	
	8	嘉手納運動公園	○	
		多数のゴルフ場 (21施設)		
	9	沖縄カントリークラブ	○	
	10	オーシャンキャッスルカントリークラブ	○	
	11	南山カントリークラブ	○	
	12	ザ・サザンリンクスゴルフクラブ	○	
	13	守礼カントリークラブ	○	
	14	芭蕉布コース		○
	15	パームヒルズゴルフリゾート	○	
	16	大西テラスゴルフクラブ	○	
	17	那覇ゴルフ倶楽部	○	
	18	西原グリーンセンター	○	
	19	パブリックゴルフうらそえ	○	
	20	琉球ゴルフ倶楽部	○	
	21	クイーンストラップゴルフコース		開業時期不明
		サッカーキャンプ場		
	22	八重瀬町具志頭運動公園陸上競技場		開業時期不明
	23	中城村吉の浦公園ごさるまる陸上競技場		開業時期不明
	24	西原町運動公園陸上競技場		開業時期不明
	25	西原町東崎公園サッカー場		開業時期不明
26	南風原町黄金森陸上競技場		開業時期不明	
27	糸満市西崎陸上競技場	○		
28	沖縄県総合運動公園陸上競技場	○		
海洋産業 マリンバイオテクノロジー産業等	1	知念海洋レジャーセンター	○	
複合産業	—			

表Ⅲ－6 想定される機能

産業以外の機能	NO.	施設	広域構想検討前 (～H18)	広域構想検討後 (H19～)
国際協力・貢献機能 国際協力拠点、国際災害援助拠点、 アジア太平洋地域の共通課題研究機 構等		領事館、各国事務所、国際交流機関		
	1	在那覇ブラジル連邦共和国名誉領事館		開業時期不明
	2	在那覇ペルー共和国名誉領事館		開業時期不明
	3	在那覇フィリピン共和国名誉領事館		開業時期不明
	4	在那覇クロアチア共和国名誉領事館		開業時期不明
	5	在那覇ラトビア共和国名誉領事館		開業時期不明
	6	在那覇アメリカ合衆国総領事館	○	
	7	在西原(沖縄)ラオス人民民主共和国名誉領事館		開業時期不明
	8	在那覇フランス名誉領事館		開業時期不明
	9	在西原(沖縄)ドイツ連邦共和国名誉領事館		開業時期不明
	10	在那覇ニカラグア共和国名誉領事館		開業時期不明
	11	在那覇タイ王国名誉領事館		開業時期不明
	12	国際マングローブ生態系協会	○	
	13	アジア医師連絡協議会沖縄支部	○	
	14	JICA沖縄国際センター	○	
	15	沖縄コンベンションセンター	○	
16	沖縄観光コンベンションビューロー	○		
産業支援機能 インキュベーション施設、工芸産業振 興拠点地域、リサーチパーク、サイエ ンスパーク、オープンソースソフトウエ ア活用促進センター等	1	那覇市IT創造館	○	
	2	企業化支援センター(沖縄産業支援センター)	○	
	3	浦添市産業振興センター	○	
	4	宜野湾ベイサイド情報センター	○	
	5	沖縄市ITワークプラザ	○	
	6	沖縄市モバイルワークプラザ	○	
	7	沖縄市テレワークセンター	○	
	8	嘉手納町マルチメディアセンター	○	
	9	美浜メディアステーション	○	
研究開発機能 総合的な研究交流・情報発信拠点、 国際的な災害研究施設、海洋資源調 査・研究施設等	1	国際マングローブ生態系協会	○	
	2	琉球大学・大学院、同大学付属研究機関	○	
	3	沖縄県立芸術大学・大学院	○	
	4	沖縄国際大学・大学院	○	
	5	沖縄大学	○	
	6	沖縄キリスト教短大、沖縄女子短大	○	
	7	沖縄県工業技術センター	○	
	8	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター	○	
	9	沖縄県工芸指導所(沖縄県工芸振興センター)		○
	10	沖縄県農業試験場(沖縄県農業研究センター)	○	
	11	沖縄県水産試験場(沖縄県水産海洋技術センター)		○
専門人材育成機能 高度で実践的な情報系人材育成機関、 アジアIT研修センター、アジアOJTセ ンター機能強化等	1	琉球大学・大学院	○	
	2	沖縄県立芸術大学・大学院	○	
	3	沖縄国際大学・大学院	○	
	4	沖縄県立看護大学	○	
	5	沖縄大学	○	
	6	沖縄キリスト教短大、沖縄女子短大	○	
	7	国際協力事業団沖縄国際センター	○	
	8	沖縄職業能力開発大学校(ポリテックカレッジ)	○	
	9	職業能力開発校(うるま市)	○	
	10	職業能力開発校(浦添市)	○	
	11	沖縄職業能力開発促進センター(ポリテクセンター)	○	
	12	雇用能力開発機構沖縄センター那覇事務所	○	
	13	サポートステーション琉球		○
	14	サポートステーション沖縄		○
広域防災機能 避難施設、避難経路、備蓄物資整備 (拠点)等	1	国立大学法人琉球大学医学部付属病院	○	
	2	県立南部医療センター・こども医療センター	○	
	3	県立中部病院	○	
	4	那覇市立病院	○	
	5	浦添総合病院	○	



図Ⅲ-24 都市機能分布状況

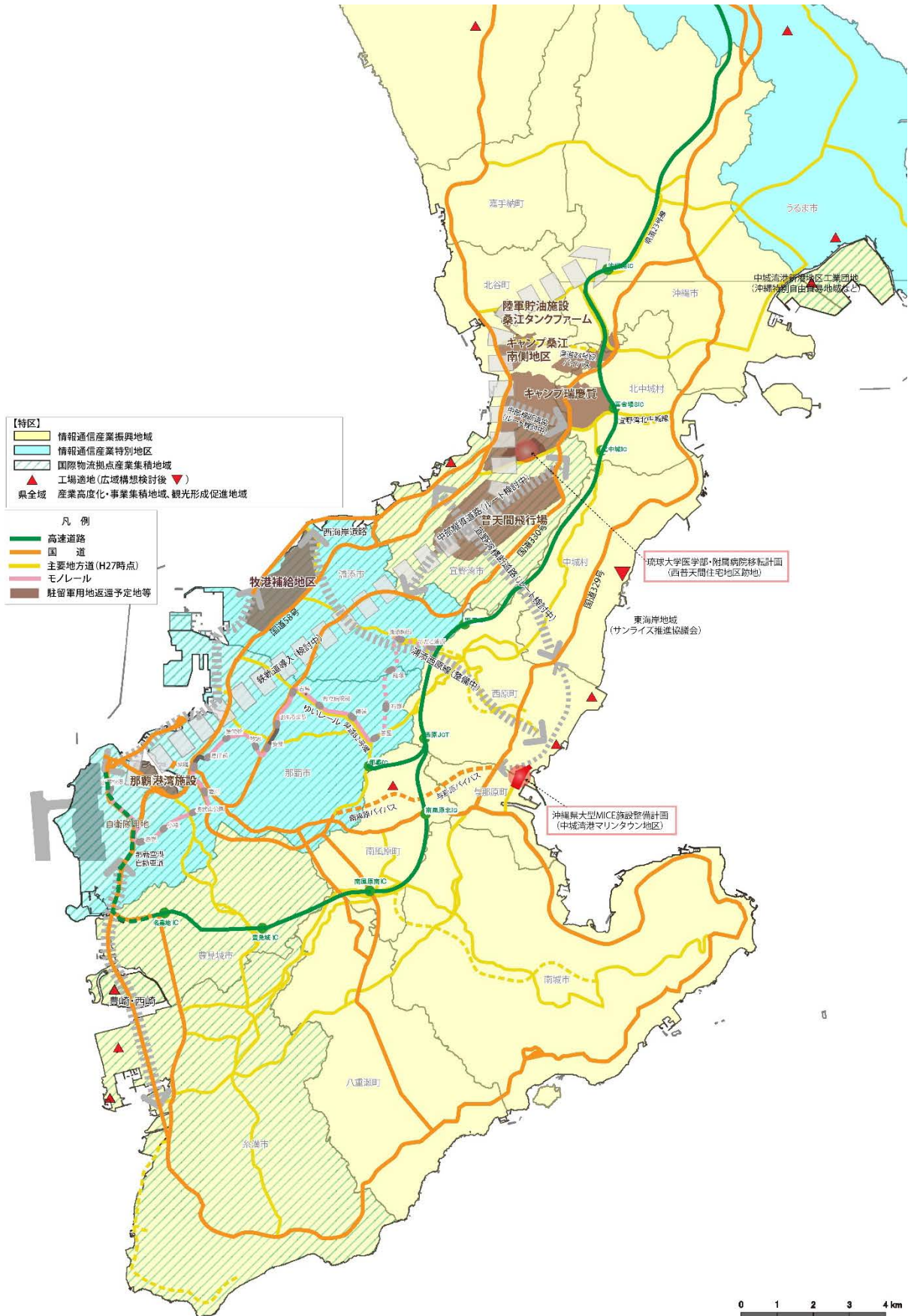
(3) -3-2 特区の状況

- ・うるま市が情報通信産業特別地区に追加された。
- ・FTZは国際物流拠点産業集積地域に統合され、浦添市、豊見城市、宜野湾市、糸満市が追加された。
- ・産業高度化・事業革新促進地域として、県全域が対象となっている。
- ・工場適地に、中城村工場適地が追加された。
- ・観光形成促進地域として、県全域が指定されている。

表Ⅲ-7 特区一覧

特区	分類	対象市町村・地域(中南部都市圏)	備考
経済特区	情報通信産業振興地域	那覇市、宜野湾市、石垣市、浦添市、名護市、糸満市、 沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、 本部町、恩納村、宜野座村、嘉手納町、北谷町、北中城村、 中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町	
	情報通信産業特別地区	那覇・浦添地区(那覇市・浦添市) 名護・宜野座地区(名護市・宜野座村) うるま地区(うるま市)	うるま市が追加
	金融業務特別地区	—(経済金融活性化特区に改組)	
	経済金融活性化特別地区	名護市	H26.4.10指定
国際物流拠点産業集積地域	那覇市、浦添市、豊見城市、宜野湾市、糸満市 うるま・沖縄地区(面積392.4ha)		特別自由貿易地域と自由貿易地域が統合
産業高度化・事業革新促進地域	県全域		
工場適地	大山工場適地(宜野湾市)		
	中城村工場適地(中城村)		追加
	小那覇工場適地(那覇市)		
	東崎工場適地(西原町)		
	津嘉山工場適地(南風原町)		
	豊崎工場適地(豊見城市)		
	糸満工業適地(糸満市)		
	糸満造船団地(糸満市)		
	読谷工場適地(読谷村)		
	赤崎工場適地(うるま市)		
	昆布工場適地(うるま市)		
	平宮地区工場適地(うるま市)		
	塩屋工場適地(うるま市)		
中城湾港新港地区工業団地(うるま市・沖縄市)			
観光形成促進地域	県全域		

※青字は中南部都市圏外



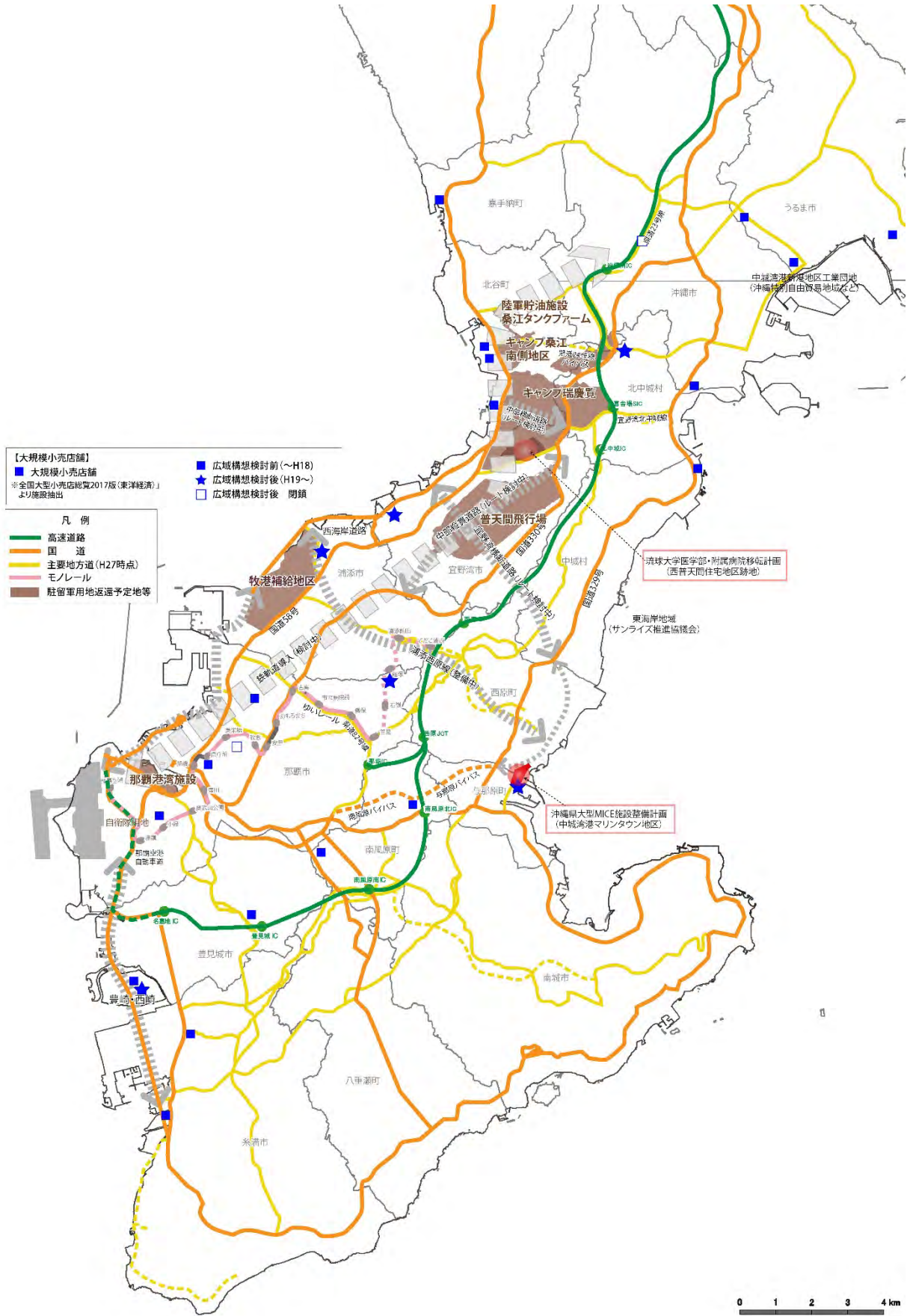
図Ⅲ-25 特区分布状況

(3) - 3 - 3 大規模小売店舗の状況

- ・平成19年調査時点で開業していた22店舗から、平成29年時点では26店舗となっている。
- ・北中城村や、与那原町において新たに店舗が開業され、大規模小売店舗の立地は広域化している。
- ・那覇三越、コリンザにおいて、店舗は閉鎖したが別機能として施設の活用が行われている。

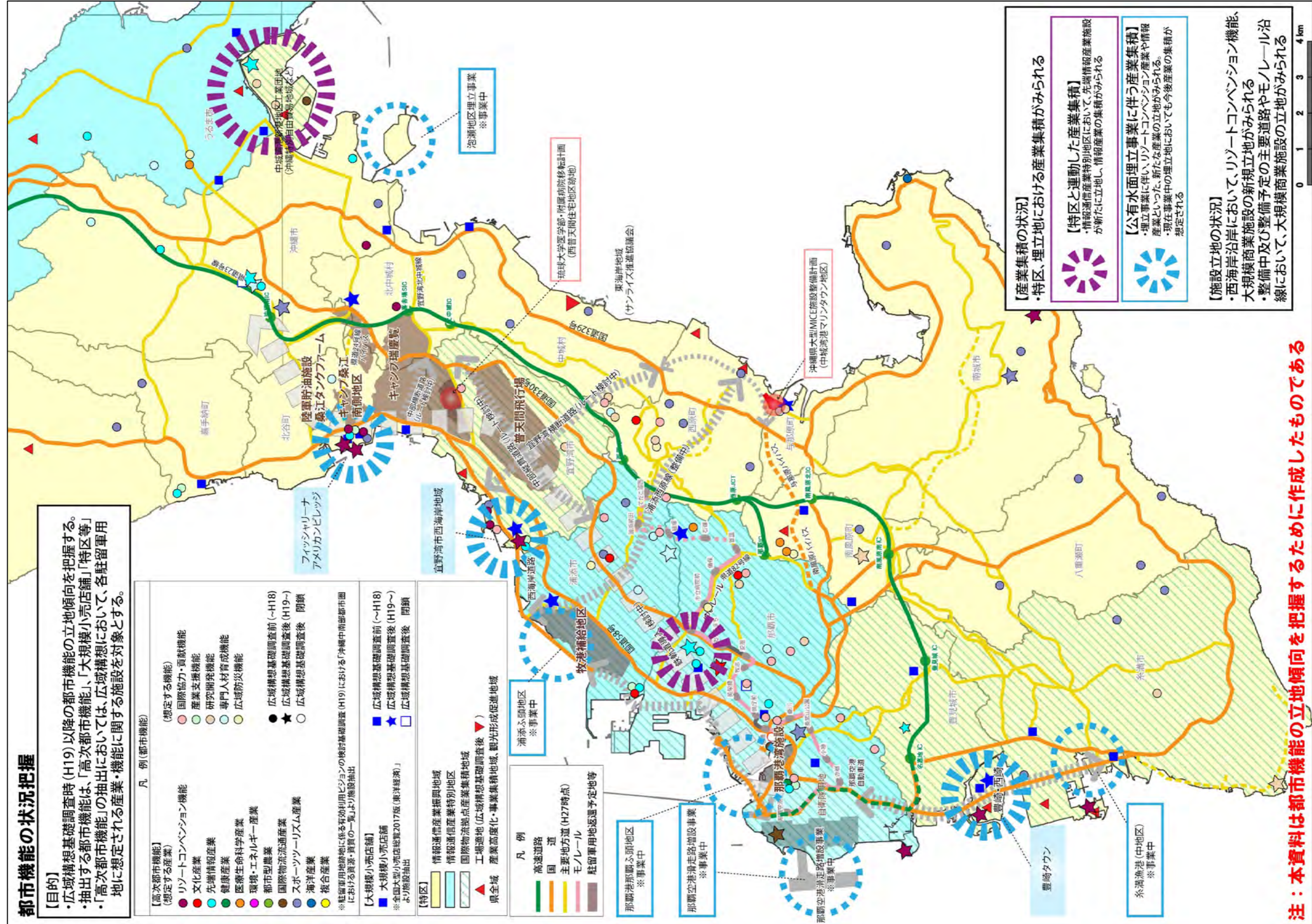
表Ⅲ-8 大規模小売店舗一覧

開業区分	名称	所在市町村	店舗面積	開業年	備考
～H18	那覇三越	那覇市	11,784㎡	S45	閉業(琉球大国市場がH30開業)
	サンブラザいとまん	糸満市	10,407㎡	S63	
	パレットくもじ	那覇市	21,204㎡	H3	
	イオン那覇ショッピングセンター(イオン那覇店)	那覇市	29,000㎡	H5	
	ヨナシロ中城モール	中城村	11,756㎡	H6	
	サンエー豊見城ウイングシティ	豊見城市	10,144㎡	H8	
	天久りうぼう楽市	那覇市	10,316㎡	H12	
	つかざんシティ(サンエーつかざんシティ店)	南風原町	10,842㎡	H12	
	サンエー那覇メインプレイス	那覇市	37,110㎡	H14	
	沖縄アウトレットモールあしびなー	豊見城市	20,966㎡	H14	
	サンエー西原シティ	西原町	22,614㎡	H15	
	イオン南風原ショッピングセンター	南風原町	23,588㎡	H16	
	サンエーしおざきシティ	糸満市	14,253㎡	H18	
	ネーブルカテナ	嘉手納町	19,023㎡	S58	
	サンエーハンビータウン	北谷町	10,601㎡	H2	
	大川家具リビング・デザイン・スクエア泡瀬	沖縄市	12,540㎡	H6	
	コリンザ	沖縄市	10,206㎡	H9	閉業(市立図書館が移転)
	美浜プレイス	北谷町	11,162㎡	H10	
	イオン北谷ショッピングセンター(イオン北谷店)	北谷町	18,949㎡	H10	
	サンエー与勝シティ	うるま市	10,454㎡	H10	
	サンエー具志川メインシティ	うるま市	22,197㎡	H11	
	イオン具志川ショッピングセンター	うるま市	27,204㎡	H12	
H19～	豊崎ライフスタイルセンターTQM TCM(とみとん)	豊見城市	11,421㎡	H19	
	サンエー経塚シティ	浦添市	18,621㎡	H20	
	マリンプラザ東浜	与那原町	10,341㎡	H20	
	サンエー宜野湾コンベンションシティ	宜野湾市	16,112㎡	H24	
	メイクマン浦添本店	浦添市	12,188㎡	H25	
	イオンモール沖縄ライカム	北中城村	57,418㎡	H27	



図Ⅲ-26 大規模小売店舗の分布状況

(3) - 4 まとめ



図Ⅲ-27 広域課題図



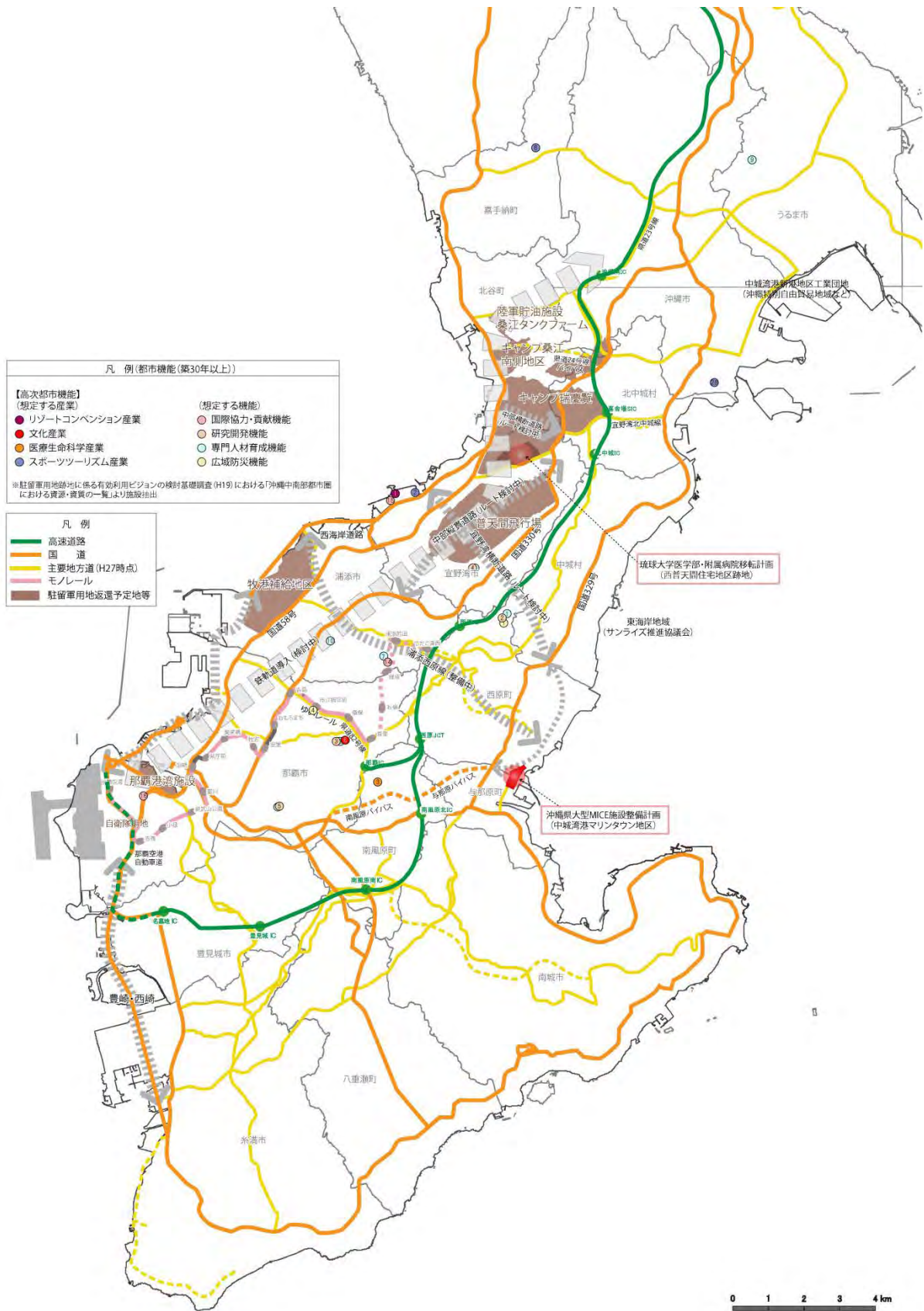
(3) - 5 公共建築物における築年数の把握

抽出した都市機能における公共建築物について、築年数を把握し、今後、想定される大規模改修や更新時における嘉手納飛行場より南の6施設の活用可能性検討の参考とする。  
 なお、「沖縄県公共施設等総合管理計画（平成28年12月）」では、公共建築物において築年数30年程度で大規模修繕を行うと仮定しているため、本検討では、築年数30年以上経過する公共建築物を把握する。

- ・ 研究開発・専門人材育成機能を担う国立大学の築年数が30年以上となっている。
- ・ 職業能力開発校の築年数が30年以上となっている。
- ・ 嘉手納飛行場より南の6施設がある市町村の内、那覇市、浦添市において、築30年以上の公共建築物の立地がある。

表Ⅲ-9 築30年以上の公共建築物一覧

想定される産業・機能	NO.	施設	開業	建替え等	築年数
リゾート・コンベンション産業	1	沖縄コンベンションセンター	S62	H30.5月 リニューアル	32年
文化産業	6	文化観光スポーツ部芸術大学(沖縄県立芸術大学)	S61		33年
医療・生命科学産業	3	精和病院	S36	S61.3月 南風原町に新築移転	32年
スポーツ・リズム産業	2	宜野湾市立野球場	S62	H20.10月 改修(拡張)	32年
	8	嘉手納運動公園	S54		40年
	28	沖縄県総合運動公園陸上競技場	S62	H30.8月 改修工事	32年
国際協力・貢献機能	14	JICA沖縄国際センター	S60	H30.10月 修繕工事	34年
	15	沖縄コンベンションセンター	S62	H30.5月 リニューアル	32年
	16	沖縄観光コンベンションビューロー	S62		32年
研究開発機能	2	琉球大学・大学院、同大学付属研究機関	S25	S59.8月 上原団地に移転完了	34年
	3	沖縄県立芸術大学・大学院	S61		33年
	4	沖縄国際大学・大学院	S47	H18.11月 本館改築工事竣工	47年
	5	沖縄大学	S49	H22.2月 新本館・体育館竣工	45年
専門人材育成機能	1	琉球大学・大学院	S25	S59.8月 上原団地に移転完了	34年
	2	沖縄県立芸術大学・大学院	S61		33年
	3	沖縄国際大学・大学院	S47	H18.11月 本館改築工事竣工	47年
	5	沖縄大学	S49	H22.2月 新本館・体育館竣工	45年
	7	国際協力事業団沖縄国際センター(JICA)	S60	H30.10月 修繕工事	34年
	9	職業能力開発校(うるま市)	S51		42年
広域防災機能	10	職業能力開発校(浦添市)	S56		37年
	1	国立大学法人琉球大学医学部付属病院	S59	建替え・移転計画あり	35年
	4	那覇市立病院	S55	建替え・移転計画あり	39年



図Ⅲ-28 築30年以上の公共建築物の分布